

学びが先行する社会にむけて

ERIC事務局長 角田 尚子

21世紀を間近に控え、1997年は変化への胎動を感じさせた一年でした。ERICへの研修の依頼が個別の学校などからも増えてきたこと、学んだ人々がそれぞれ実践の場を増やしていることなど、身近なところで感じる変化もありますが、中教審答申、国際成人教育会議、ユネスコの『ラーニング』出版など、教育に関する論調が変わってきています。「学び方」が伝わる「教え方」が求められていること、そして「学び合う」姿勢と人間関係の技術が重視されてきていること。社会に人間を合わせるのではなく、人間に社会を合わせていく「学びが先行する社会」こそが、未来を開く鍵なのです。わたしたちの社会が直面する「新しい学習課題」の膨大さを考えたとき、学ぶこと、学び合うことが楽しくなければ、21世紀は重苦しい時代になってしまいます。楽しく学ぶためのノウハウをしっかりと持ち、提言してきた団体としてERICも9年目を迎え、先駆者として、これからも学び続けていきたいと願っています。一緒に21世紀の扉を開きましょう。

対立から学ぼう短期集中基礎コース●●●●●

対立は悪くない。それぞれの個性、多様性が対立の芽になっている。対立に気づき、前向きに扱うことを学べば、多様性が豊かさにつながる人間関係がつけられるよ。

『対立から学ぼう』（国際理解教育センター編訳）のこのメッセージをわかりやすく実践にむすびつけるためのコースです。『対立から学ぼう』は、人間関係における様々なストレスを抱え込む10代の若者たちにとって役立つスキルを教えるカリキュラムです。そのカリキュラムをこれまでのERICの経験の蓄積をもとに、コミュニケーションについて考え教えるためのコースにまとめました。実際の授業案やプログラムづくり、年間カリキュラム構成までを含んでいます。10代の若者に接する小・中・高校教師のみなさんをはじめ、青少年指導員、若者を力づけるために活動する多くの方々の参加をお待ちしております。お問い合わせは高橋、金光まで。

日時：1998年3月26、27、28日 場所：国立婦人教育会館 埼玉県比企郡嵐山町
参加費：35,000円 全9セッション（宿泊費、研修費、資料代込み、食費別）
テキスト：『対立から学ぼう』 『対立から学ぼう実践マニュアル』（予定）

セッション1 安心感のある場づくり
参加者のニーズ（課題）の分かち合い
仲間意識を高める
対立解決について学ぶ意義
受容的雰囲気をつくるには

セッション2 対立は悪くない
対立は悪くない
対立は人間の成長の機会
自分の対立のパターンを知る
対立の扱い方の改善策や課題の共有

セッション3 対立は激化する
対立のエスカレーター
対立の芽に気づく
対立の激化、内在化
内在化した対立の問題点
国際的対立の事例

セッション4 怒り・感情の扱い方
怒りの温度計
非言語的コミュニケーション
怒りの表現
怒りのサイン
子どもたちのサインを受け止める
ために

セッション5 言葉を豊かに
わたしメッセージ
言語的コミュニケーション
自分を肯定的に表現する言葉を豊かにする（セルフ・エスティーム）

セッション6 共感的に理解する
相手を理解するとは
アクティブ・リスニング（傾聴）
コミュニケーションの落とし穴

セッション7 ものの見方は
それぞれさまざま
視点メガネ
もの見方はそれぞれさまざま
異文化の中での対立
誤解と理解 ロール・プレイ

セッション8 本当に満たされた
いこと
要望と本心
ウィン・ウィン型解決を目指すには
協力
本当に満たされたいことは何か？
予防的問題解決にむけて

セッション9 年間計画を立てる
学校の四季暦
プログラムづくり
相互にアドバイス
日本における平和を実現するクラス
とは

ERIC

国際理解教育センター
International Education
Resource & Innovation Center
114 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル1F
Iwase Bldg. 1F, 1-14-1 Higashi-tabata,
Kita-ku, TOKYO 114 JAPAN
代表案内電話 & FAX: 03-3800-9414

環境アドボカシー研修／パネルディスカッションと3日間の研修会

東ヨーロッパ中央ヨーロッパ地域環境センター（在ハンガリー、ブダペスト市）からジリ・デュシックさんを招いて、東欧や中欧で、市民がどのように環境問題に取り組んでいるかのパネルディスカッションと同時に、3日間の環境アドボカシー研修を行います。ジリ・デュシックさんは東欧や中欧で、環境グループを対象に市民がアドボカシー技能をつけていくための様々なトレーニングやワークショップを行っています。東欧・中欧は、水力発電所建設による生態系の破壊、廃棄物/有害廃棄物の越境汚染、石油ターミナル建設の環境への影響めぐり、市民が国境を越えて様々な運動を展開してきました。東ヨーロッパ中央ヨーロッパ地域環境センターは、アメリカや西欧チームと共同でアドボカシー技能についてタスクフォース（市民参加部会）を作り、環境及び自然保護の開発と実施における市民の関与の可能性、困難となっている事柄、制限要因などを調査分析し、こうした市民参加を進めるための法的なまたそれ以外の手段を明確にして、各地でトレーニングを行っています。NGOや市民団体が環境問題の情報を入手する方法、環境問題に関する意思決定過程に参加を開始する方法、また、意思決定過程に最も効果的に参加する方法を発展することに着目しています。パネルディスカッションでは、環境問題ほか、国内、国際的に提言活動を行う市民グループ、NGOと一緒に、話を進めていきます。（担当：久保）

※アドボカシー技能・政策提言能力

●ポストCOP3 フューチャーサーチ

日時：1998年1月15.16.17日
内容：エネルギー計画のための合意形成プロセスをフューチャーサーチの手法で。

（担当：角田）

●パネルディスカッション

「東欧の環境問題に市民はどう取り組んでいるか。」

日時：1998年2月18日18:00～21:00

開場17:30～

参加費：1,000円（資料代込み）

会場：早稲田奉仕園 講堂

●環境アドボカシースキル研修会

日時：1998年2月20～22日（予定）

会場：富士箱根ランド 会議室

参加費：10,000円（宿泊費、食事、研修費、資料代込み）

1月31日までにお申し込みください。

申し込み用紙をERIC事務局にご請求ください。

PLT 研修のおすすめ



プロジェクト・ラーニング・ツリー（PLT）は、身近な「木、森」を題材にして、そこから徐々に世界を見ていく窓として、アメリカ森林協議会（AFF）と環境教育評議会（WREEEC）によって開発された総合的な環境教育プログラムです。

◇環境の中の自分たちの現状に気づく ◇生態的・経済的・文化的・社会的な面を含む森林資源の多様な価値に気づく ◇環境に対する自分たちの影響力と責任をよりよく理解することができる ◇環境の管理と利用に関して、幅広い情報にもとづいた意思決定をする技能と知識を身につける ◇自分たちの決定にもとづいて行動する力に対する自信を高める

低学年向けに作成された『木と学ぼう』を教材にしながら、6時間研修と12時間研修（リーダー研修）が行われています。自分の地域の近くで参加できる研修がないかどうかについては、京都や東京都で研修を行っている場合がありますのでお問い合わせください。また、国際理解教育センター（ERIC）はPLTの日本事務局になっています。PLTに関するお問い合わせ等がありましたら、ERICまで。

京都ユースホステル環境教育事業部 616 京都市右京区太秦中山町29 TEL 075-462-9185
板橋区立エコポリスセンター 174 東京都板橋区前野町4-6-1 TEL 03-5970-5001

●PLTのアメリカ事務局 インターネットのホームページ

PLTのアメリカ事務局は、インターネットのホームページを開始しています。本部の開設したホームページなため英語ですが、英語で情報入手が可能な方は下記のホームページのアドレスへ。

<http://www.plt.org>

●PLTコーディネーター会議のお知らせ

開催場所：クレアウォーター フロリダ州

期間：1998年5月27日～31日

内容：新しいアクティビティの体験やフィールドトリップ、カリキュラム評価事項の検討と内容のバランスのとれた会議です。

第10回グローバル・セミナーは、未来を拓く！

「未来を学ぼう」

"Values&Visions"

A handbook for spiritual
development and global
awareness

by Manchester Development
Education Project

キーワードは「未来」。21世紀を担う子どもたちに、命あるものたちに豊かな、やさしい世界を託すための実践セミナー。セミナーに先んじて出版を計画している『未来を学ぼう』は、精神的に肉体的に豊かな一人ひとりの人間性、グローバルな気づきを育むために今私たちができることを子どもたちと共に考え、実行するためのアクティビティ集です。子どもたちや地球社会に興味ある人々全てに！一緒にセミナーをつくりたい方、興味のある方からの、ご連絡をお待ちしています。
(担当 馬場)

日程：1998年6月13・14日

日程を予定表に入れて下さい！

参加し、出会い、カづけ、つながるための子どもキャンプ "PEER"

一緒にプログラムを企画、実施するボランティア募集

"PEER" は

P Participation 参加し
E Encounter 出会い
E Empowerment カづけ
R Relationship つながる

Peer Group とは同世代集団のことです。

夏休みの中の一週間、小学校5.6年および中学校1.2年生を対象に仲間づくりのキャンプをしませんか？普段とは違う環境、人間関係の中で自分を見つめ直し、自然や地域、世界とのつながりの中にある自分に気づき、自信を持ってもらおう、というのがねらいです。楽しく、子どもたちが楽になるプログラムづくりを目指したいと思います。

第一回顔合わせ・勉強会は1月10日15:00～、ERIC事務所にて行います。
心よりご参加お待ちしております。

詳細は木野・高橋まで

海外研修 PA 主体的参加評価法 集中セミナー

ERICでは1995年にイギリスのアンディ・イングリズさんを招きPRA (主体的参加地域評価法)について学ぶセミナーを開きました。以来、PRAの視点、手法を含める市民社会のための「参加のファシリテーター」養成にも携わってきました。もともとは開発途上にある国の地域住民の参加型意志決定に用いられることが多かったのですが、今では先進国の住民参加型の意志決定プロセスにも多く用いられはじめていて、「地域」をとってPAのセミナーになっています。

場所： スコットランド、エジンバラ州

日時： 1998年 4月20日～24日、4月27日～5月1日、6月20日～6月24日のいずれか。

内容： 主体的参加評価法についての演習3日とエジンバラでの実践2日。

問い合わせ先： Yvonne Kinnaird FREEPOST UnivEd Technologies
Ltd 11 South College Street Edinburgh EH8 0LL
Tel: 0131-650-9017 Fax: 0131-650-9019
e-mail:yvonne.kinnaird@ed.ac.uk

4月からの企画

4/25	基礎コース 第1回 (毎月第4土曜)
6/13.14	第10回 グローバル・セミナー
(予定)	[Values&Visions 未来を学ぼう]
7.8	子どものキャンプPEER

新刊!!

『地球のみかた (生徒用)』

1,260円 (税込み)

「地球のみかた ～地球について学ぶカリキュラム～」の解説文とワークシートを抜粋した生徒用ワークブックができました。ワークブックを教科書に、『地球のみかた』で紹介された授業案にしたがって進めていけるようになっています。学年単位、クラス単位で御活用下さい。(久保)

Welcome!! 学生インターンの堀川さん、武藤さん

「11月からERICで資料の整理をすることになりました。資料室がより使いやすくなるように、少しでもお役にたてればと思います。多くの情報に触れることはわたしにとってもよい刺激になるのでがんばります。」(堀川)

「ERICを通してNGOの運営や国際理解教育の舞台裏を知り、ご活躍している方々にお会いできるのを楽しみにしています。ERIC主催のワークショップやミーティングにもできるだけ参加し勉強したいと思っています。」(武藤)

資料室からのお知らせ

都合により土曜日はお休みします。月、火、木、金の10:30～18:30開室します。事前に電話またはFAXでご予約下さい。

アルバイト募集 書籍の発送、PC (マック) 入力等、ERIC事務所でお手伝い下さるアルバイトさん募集中です。

ERIC

国際理解教育センター

書籍購入費・研修参加費用は下記のそれぞれの講座に振込み願います。

書籍専用	郵便振替口座 00160-3-547794	口座名称 ERIC
研修参加費専用	郵便振替口座 00180-5-710744	口座名称 ERIC事務局
ERIC通信No.9	年4回発行 発行責任者 角田尚子	印刷 株式会社TRY
ERIC事務局	TEL 03-3800-9416	FAX 03-3800-9414